

特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr.314

Februar 2017

NPO 法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館 19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE

GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

NPO 法人 神戸日独協会主催 「神戸開港150年」記念特別講演会

神戸開港後日独交流150年の足跡からの

国際交流の将来的展望

神戸は2017年1月1日に「神戸開港150年」を迎えました。1861年1月に「日本・プロイセン修好通商条約」が締結され、1868年1月1日に当時の兵庫港が開港されてから、神戸でのドイツとの交流が始まりました。その後神戸は、神戸港の発展と共に、経済・社会・文化・科学技術など様々な分野において西日本の日独交流の中心として歴史を重ねてきました。

昨年来ヨーロッパでは絶えることのない多数の難民の流入と受入による主要国における移民排斥を掲げる極右政党の台頭、イギリスのEU離脱など多くの問題が起こりました。今年フランス大統領選挙やドイツ連邦議会選挙が予定され、その結果次第ではヨーロッパの秩序は多極化して大きな危機を迎えるでしょう。今後の世界は、グローバル主義から保護主義へ、ポピュリズムの台頭、人工頭脳による産業の変革など国際的な大きな変革の流れが予想されます。この流れをより正しく理解するために、開港以来神戸でこれまで日独が共に歩んできた道のりを回顧し、現在の日本とドイツ両国間の交流の意義・あり方を考え、これからの日独交流のみならず国際交流の将来像を展望してみたいと思います。

講演者:

- ・基調講演「神戸開港後の日独交流、その特徴」 神戸日独協会会長 栢田義一氏
- ・「時代の流れの中のドイツ総領事館 一回顧と展望、現在の課題」(通訳付き)
大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事 ヴェルナー・ケーラー氏
- ・「神戸開港後からのドイツ系商社の足跡」(仮題)(講師依頼中)

※ 講演題目及び講師が確定次第、ホームページでお知らせします。

☆この講演会は、(公財)兵庫国際交流協会平成28年度民間国際交流事業助成金によります。

日 時: 2017年3月5日(日) 14:00~17:00

会 場: 神戸国際会館会議室802・803

定 員: 80名 (要事前予約)

参加費: 無料

申 込: 2017年3月3日(金)まで協会事務室へ TEL/FAX 078-230-8150、E-mail:
info@jdg-kobe.org でお申し込みください。

「神戸開港150年」祝賀会

講演会終了後引き続いて会場を変えて、「神戸開港150年」祝賀会を行いますので、ご参加ください(17:30~19:30)。

日 時: 2017年3月5日(日)17:30~19:30

会 場: ビアレストラン「ロイン三宮店」

参加費: 3000円(飲物は各自払い)(当日会場にてお支払いください)

定 員: 50名 (要事前申込、2017年3月3日(金)まで協会事務室へ)

Sondervortrag zum 150-jährigen Jubiläum der Hafenöffnung von Hyogo „Auf den Spuren aus 150 Jahren Vergangenheit japanisch-deutscher Beziehungen in die Zukunft internationalen Austausches“

Am 1. Januar jährte sich die Öffnung des Hafens von Kobe zum 150. Mal. 1868 wurde am 1. Januar der damalige Hafen Hyogo freigegeben. Dies ist auch der Beginn des japanisch-deutschen (damals preußischen) Austausches in Kobe.

Für das 150-jährige Jubiläum der Hafenöffnung von Kobe plant die Japanisch-Deutsche Gesellschaft Kobe eine Jubiläumsvortragsveranstaltung. Durch Vorträge soll zu tieferem Nachdenken über die künftigen Beziehungen zwischen Deutschland und Japan angeregt werden, weil wir heute vor einer Situation stehen, in der bezüglich des Fortgangs internationaler Beziehungen vieles im Unklaren ist, und auch neue Schwierigkeiten dabei zu erwarten sind.

Programm:

Grundsatzvortrag: „Japanisch-Deutsche Beziehungen seit der Hafenöffnung von Kobe“
Präsident der JDG Kobe Yoshikazu Masuda

Vortrag 1: „Die deutsche konsularische Vertretung im Wandel der Zeit.

Rückblick und Ausblick. Gegenwärtige Herausforderungen “

Generalkonsul der Bundesrepublik Deutschland Dr. Werner Köhler

Vortrag 2: „Auf den Spuren einer deutschen Firma in Kobe seit der Öffnung des
Hafens.“ (In Planung)

Datum: 5. (Son.) März 2017 14:00 ~ 17:00

Ort: International House Kobe 8F, Konferenzzimmer 802 und 803
(Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku Kobe)

ドイツ語談話室

第158回ドイツ語談話室

日時：2017年1月21日(土) 14-16時

場所：神戸日独協会 会議室

テーマ：酉年

今回の司会は松浦庸夫氏が担当され、一般に酉年は、飛躍、変化、転換の年と、言われる事を紹介され、まず二つの大きな予期しなかった転換として、英国のEU撤退とアメリカのトランプ大統領就任が酉年の今年にどのような影響をもたらすか、と疑問を投げかけられた。また、過去の酉年の変化として、2005年の小泉現象、1993年のEU発足や細川政権誕生などを挙げられた。次に、参加者が酉年への思いや、新しい年への抱負などを話した。以下その一部を紹介。

—鳥に因んでは、インコを飼い始めた事と、鳥インフルエンザの流行が気になる。今年の目標としては、健康に配慮する事と日々のスポーツを心掛けたい。

—父が酉年生まれだったので、酉年は父を懐かしく思い起こす。今年の抱負としては、歌が好きなので、ドイツ歌曲を練習したい。

—十二支には全くこだわらない。ただ、また新しい年が来た思っただけだが、今年は何とかして、積み積もった不要な古い書類を処分して、部屋をすっきりさせたいと考えている。

—酉年だった父を思い出す。昨年はドイツ各地に旅した。印象に残るのが11月上旬に、リューゲン島近くの海で多くの人が泳いでいたのと、多くの鶴の群を浜辺で見かけた事。

—新年に旧友たちから来た年賀状を読んで、皆の事を懐かしく思い起こした。これらのうちの一人は、自然、時間、忍耐を大切に考える。自身は、今年このドイツ語談話室に休まず参加する事を目標にする。

—丁度60年前の酉年に初めてドイツに行った事を思い出す。海外によく旅行するが、その国の言葉で自然に話し合える事の大切さを感じる。今年も外国語の研修に励みたい。

—鳥と言えば、平和のシンボルである鳩を思い起こす。昨年末、少し小さなマンションに引っ越して、余分なものをなくし、今年シンプルな生活を目指したい。

今後のドイツ語談話室の予定

第159回 2017年2月18日(土) 14-16時 テーマ：冬の過ごし方

第160回 2017年3月18日(土) 14-16時 テーマ：私の好きな散歩道

Deutsche Gesprächsrunde

Protokoll der 158. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag 21. Januar 2017 14 bis 16 Uhr

Thema: Das Jahr des Hahns

Dieses Mal hatte Herr Tsuneo Matsuura die Gesprächsleitung und erzählte, dass man das Jahr des Hahns als „Jahr des Aufschwungs“ oder „Jahr der Änderung“ bzw. „Abwechslung“ bezeichnet. Vor kurzer Zeit gab es zwei große Überraschungen: „Brexit“ und Donald Trump als Präsident. Man fragt sich, welche Änderungen dies in diesem Jahr des Hahns wohl bewirken wird. Der Gesprächsleiter gab auch einige Beispiele für Veränderungen an, die in früheren Jahren des Hahns vorkamen, z.B. das Koizumi Kabinett 2005, den Beginn der EU 1993 und das Hosokawa Kabinett im selben Jahr.

Bei der Gesprächsrunde kam es unter anderem zu folgenden Wortmeldungen:

-Bezüglich „Vögel“, hatte eine Teilnehmerin zu berichten, dass sie sich einen Sittich zugelegt hat. Und die Ausbreitung der Vogelgrippe macht ihr Sorgen.

Ihr Ziel für dieses Jahr ist gute Gesundheit und dazu regelmäßiger Sport.

-Das Jahr des Hahns erinnert eine andere Teilnehmerin an ihren Vater, der in einem Jahr des Hahns geboren worden war.

Sie singt gern, und ihr Ziel in diesem Jahr ist es, deutsche Lieder zu üben.

-Ein Teilnehmer schenkt den Jahreszeichen keine besondere Aufmerksamkeit. Was dieses Jahr anbelangt, so möchte er alte, nutzlos gewordene Dokumente aussortieren und so Platz und Ordnung schaffen.

-Noch einen Teilnehmer erinnert das Jahr des Hahns an seinem Vater, der auch im Jahr des Hahns geboren war. Er selbst konnte letztes Jahr in Deutschland viel reisen. Am meisten hat ihn beeindruckt, dass auf einer Insel in der Nähe von Rügen viele Leute Anfang November noch schwammen und dass sich dort viele Kraniche am Strand sammelten.

-Zu Neujahr erinnert sich ein Teilnehmer beim Lesen der Neujahrskarten an seine ehemaligen Kollegen. Einer von diesen schreibt, dass ihm Natur, Zeit und Geduld sehr viel wert sind.

Er selbst möchte dieses Jahr regelmäßig an der Deutschen Gesprächsrunde teilnehmen.

-Eine Teilnehmerin erinnert sich, dass sie genau vor 60 Jahren, also auch in einem Jahr des Hahns, zum ersten Mal nach Deutschland gefahren ist. Sie reist oft ins Ausland und empfindet es immer als sehr wichtig, die Sprache des Landes fließend sprechen zu können. Auch dieses Jahr möchte sie an ihren Fremdsprachenkenntnissen arbeiten.

-Beim Thema Vögel denkt eine Teilnehmerin vor allem an Tauben als Symbol des

Friedens. Sie persönlich ist Ende des letzten Jahrs in eine kleinere Wohnung umgezogen und hat dafür alles, was nicht mehr nötig ist weggeworfen. Für dieses Jahr hat sie sich vorgenommen, ein einfacheres Leben zu führen.

Nächste Treffen:

Samstag, 18. Februar 2017, 14 bis 16 Uhr, Thema: Wie verbringt man den Winter am besten

Samstag, 18. März 2017, 14 bis 16 Uhr, Thema: Mein liebster Wanderweg

神戸日独協会 ドイツワインの会

第3回「葡萄とドイツワイン」 /3. Mal: Weintrauben

神戸日独協会では、“日常生活の中でワインを楽しめるようになるきっかけづくり”をコンセプトに、日ごろ曖昧にしがちなワインの「いろは」を振り返り、試飲をしながらドイツとその食文化への理解を深める「ドイツワインの会」を開催しています。

第3回目のテーマは「葡萄とドイツワイン」。講師の松田耕治氏より、葡萄の品種についてドイツの地理や地質に触れながら解説、また今回は、2000年ヴィンテージワインと2015年の比較試飲を実施いたします。フレッシュなワインと熟成ワインの違いとは？自分の好みはどっち？学んだことは家族や友人に共有（自慢）しましょう。

初参加でも大丈夫です。皆さまお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください！

日時／Zeit: 2017年3月26日(日曜日)14:00／14:00 Sonntag 26. März 2017

場所／Ort: 神戸日独協会会議室 /JDG Kobe

定員／Teilnehmerzahl: 20名(先着)／bis 20 Personen

※定員を超えた場合はキャンセル待ち

費用／Kosten: 2000円／2,000 Yen (会員: 1800円／Mitglied 1,800 Yen)

当日会場にてお支払いください。

※締め切り日以後にキャンセルされた場合、後日料金を請求いたします。

ご了承ください(締め切り日の申込者数でワインを発注するため)。

申込／Anmeldung: 2017年3月21日(火曜日)まで／Bis Dienstag 21. März 2017

Tel: 078-230-8150 E-mail: info@jdg-kobe.org

※初参加の方は、お申し込み時にお知らせください(テキスト準備のため)。

第4回開催予定／5月28日(日)「ワインの産地を知る」

ドイツワインの会 第2回「季節のワイン」感想

ドイツワインの会第2回に参加して

ドイツ語クラスK2 足立 江梨

もともとビール派だったのですが、仕事でドイツに関わるようになってから、ドイツにも美味しいワインがあることを知りましてドイツワインに興味を持ちました。

私はワインの知識が全くない初心者ですが、ラベル(エチケット)の読み方や、フランケンワインの瓶の形がなぜあの形なのか等、たくさんの知識を、しかも大変判り易く、楽しいお話の中でご教示いただき、更にワインに興味が湧きました。

特に興味を持ったこととして、まずはドイツワインのトレーサビリティーの高さです。国、土地、畑、樽に詰められた年等が判る番号や、A.P.Nr.と書かれていることで国の認定を受けたか否かがわかる等、エチケットの中に全ての情報が書いてあるとのことで、今回ご教示いただいた内容を覚えていれば、エチケットを見るだけでどのようなワインかが判りながら安心かつ楽しんで飲めるので、通常の生活でも楽しめて良いと思いました。

また、手摘みか機械摘みかでワインの味の精度が変わることや、ぶどうの収穫時期に住み込みの仕事があることも知りました。住み込みの仕事については、自身に時間があれば是非経験したいものです。

今回いただいたワイン5種類+グリュウワインも美味しくいただきました。初心者の為知りませんが、テイastingをする順番が糖度やアルコール度数により決まるとのことで、各数値の見方も教わりました。個人的には、2番、3番、5番を好きになりました。ローテ・ローゼで購入可能でしょうか。グリュウワインも美味しくいただきました。

松田さんが昨年ドイツに行かれた際の、農場や農場経営をされている方々のお写真も拝見し、ヤギ(でしたでしょうか)が下の方の草を食べて除草する等、ワインの作られ方について興味深く知ることができました。

一人での参加でしたが、ご一緒させていただきました参加者の皆様にも気さくに話しかけていただき、楽しく過ごすことができました。ワインのお話だけではなく、ドイツに行かれた際の体験談も興味深くお伺いさせていただきました。

2時間の会で、たくさんの知識をご教示いただきましたので、せっかくなのでまとめておかないかと思っております。初心者で一人参加でしたが、ワインの知識が無くとも難しくなく気さくに楽しませていただきました。また、是非次回の会にも参加したいと思っております。

ドイツワインの会 第2回「季節のワイン」

奈良日独協会 米田 都

ワイン好きの皆さん！ドイツワインにどういった印象をお持ちでしょうか？甘い白ワインが多い？実は日本で見かけるドイツワインは圧倒的に甘い白ワインが多いだけで、実は辛口が多いんです。ご存知でしたか？(今回の講義の完全な受け売りです。私も知りませんでした！)今回私が

この会に参加した理由は『ドイツ文化をお酒の観点から学ぶため』でした(裏の理由は『美味しいドイツワインをたらふく飲みたいから』です)。また普段馴染みのないドイツワインがどういうものなのか純粋な興味がありました。

ワインの知識が皆無な私がそわそわしながら、会場で待っていると、個性的な眼鏡をかけたダンディな株式会社ドイツ商事の松田 耕治さんが講師として来られ、ワインの講義が始まりました。ワインに関して無知な私でも非常にわかりやすいウィットに富んだ説明を頂き、今まで知らなかったドイツワインの世界を垣間見る事ができました。今回は季節のワインとエチケット(ラベル)に記載の A.P.Nr(エーピーヌマー)について、学びました。A.P.Nr を見れば、そのワインがどの地方のどの醸造所で作られ、どの畑の葡萄を使用し、どの樽の何年に瓶詰めされたか詳しくわかるので、几帳面で管理が大好きなドイツ人らしいシステムだと感じました。また、松田さんから現地の醸造所に足を運んだ際の写真をスライドで見せて頂き、ワインの生産現場を身近に感じる事ができました。解説が進むごとに季節のワインを白の辛口から始まりロゼ、甘口、最後にグリーンワインと6種類のワインを試飲しました。出てくるワインの順番も飲む人の美味しさを考えこだわったもので飲み飽きることなく美味しく頂きました。ワインの事を知らないままで飲むのも勿論良いですが、知識を知った上で飲むとまた別の視点でワインを楽しめます。そして、にわかワイン通になれます！次回のワイン会は3月に開催予定です。ご参加をお待ちしています！

最後になりましたが、講師の松田さんをはじめ、会場の準備や当日の配膳等でご尽力頂いた神戸日独協会の皆様、ありがとうございました。

日独若者の「神戸再発見」

Gemeinsam Kobe neu entdecken

第37回 「新年の遊び ～百人一首～」報告

実行委員・GJG担当 足立翔

今回は神戸日独協会の会議室にて、百人一首で遊びました。百人一首で遊ぶのは、高校生の時の年中行事以来だったのでインターネットで遊び方を検索し、詠まれた歌の下の句の札を取り合う「散らし取り」と、絵札を札山からめくって遊ぶ「坊主めぐり」にチャレンジしてみました。

参加者は全員日本人でしたが、お菓子を食べながら「旧仮名遣いもあるから外国人には散らし取りはレベルが高いかもしれない」、「坊主めぐりなら絵で分かりやすく、簡単に遊べるはず」といった談義もあり、伝統的な遊びを見つめ直す良いきっかけにもなりました。時間はあっという間に過ぎてとても楽しい会になりました。百人一首の歌人の何人か神戸の布引の滝にちなんだ歌を作っていて、石碑もあるということを知りました。暖かい季節になったら訪れてみたいです。

※ 次回については企画中です。決まり次第ホームページでお知らせします。

事務室からのお知らせ

会報発送ボランティア募集

会報の発送を手伝ってくださる方を募集しております。会報の次回発送予定日は3月9日(木)です。お手伝いいただける方は、事前に事務室へご連絡(TEL/FAX 078-230-8150)の上、12時半頃事務室にお越しください。

これからの神戸日独協会の催し

| 日時 | 催し | 会場 | 申込〆切 など |
|--------------------|------------------------------|---------------------|------------|
| 2月18日(土) 14:00~ | 第159回 ドイツ語談話室 | 神戸日独協会 会議室(19階) | 当日参加可 |
| 3月5日(日) 14:00~ | 「神戸開港150年」記念 特別講演会 | 神戸国際会館 会議室(8階) | 3月3日(金)まで |
| 3月5日(日) 17:30~ | 「神戸開港150年」記念 祝賀会 | ビアレストラン 「ロイン三宮店」 | 3月3日(金)まで |
| 3月18日(土) 14:00~ | 第160回 ドイツ語談話室 | 神戸日独協会 会議室(19階) | 当日参加可 |
| 3月26日(日) 14:00~ | 「ドイツワインの会」 第3回「葡萄とドイツワイン」 | 神戸日独協会 会議室(19階) | 3月21日(火)まで |